

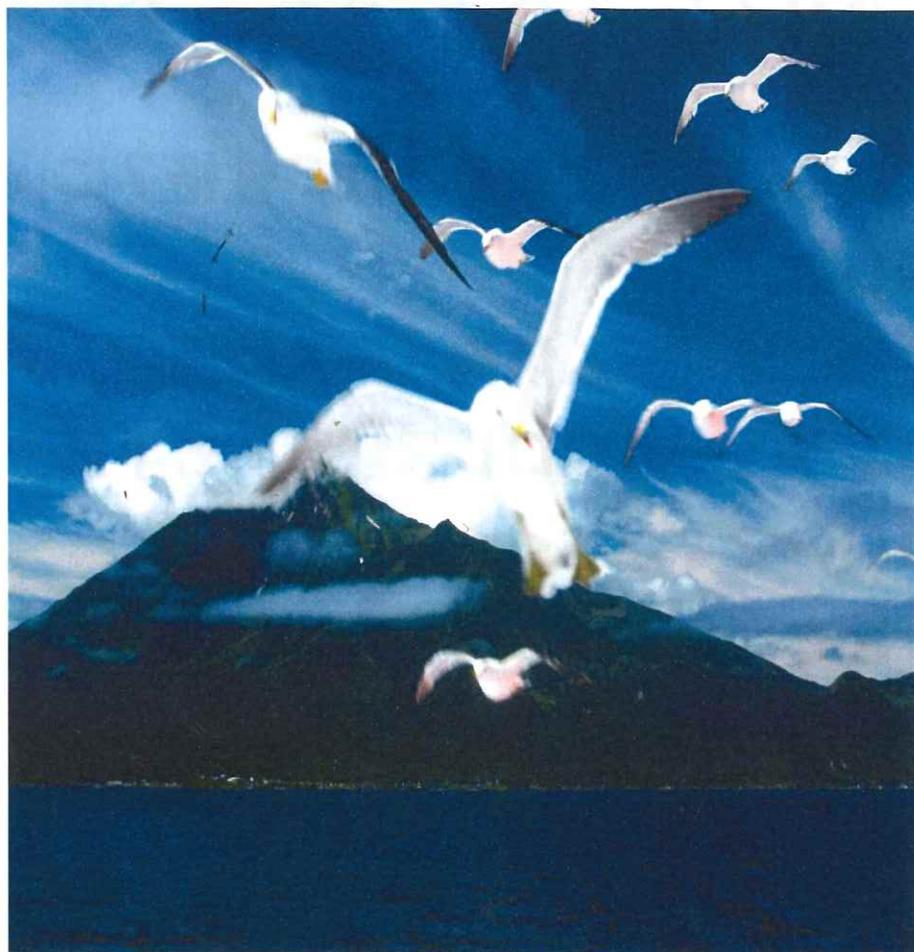


SENSHOJI  
2022 YUKARI NEWSLETTER  
since 1994

ゆかり通信  
VOL. 292  
令和4年5月

北海道千歳市清水町1-14 鶴竇山 千正寺  
TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883  
ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2022年千正寺カレンダー 5月の言葉



利尻観光の歓迎迎えます/カメメ

自分のことより、  
ちょっと他人のことを考える。  
こんな事ができる人を心豊かな人という。

(雪山隆弘氏)

今月の言葉は浄土真宗本願寺派・善巧寺の住職を勤められた雪山隆弘氏のことばです。雪山さんは早稲田大学卒業後、新聞社の記者、ラジオ番組のパーソナリティーとして活躍された後、縁あって奥様の実家のお寺を継ぐことになった方です。

雪山さんは「開かれたお寺にしたい」との思いから落語会や、子ども会を開いたりするなどお寺を文化活動の場として開かれ、その中でも児童劇「雪ん子劇団」を結成して、県内外で多くの公演をされ、劇団は35年間の活動を終わりました。

今月のことばは、雪山さんがその劇団の活動を通して、いつも大切な思いとして心がけられておられたことばです。

自分のことより、ちょっと他人のことを考える。

こんな事ができる人を心豊かな人という。

仏教の教えに「自利利他円満」という教えがあります。

「自利」というのは、自分がさとりを開いて仏になるということ、つまり自分が幸せになるということであり、「利他」というのは、他をさとりに到らしめる、つまり他者にも幸せになってもらうということです。

そして「自利利他円満」というのは、自分の幸せが他人の幸せにもつながり、他人の幸せが自分の幸せにもなるということです。

ただ、そうは思いつつも自分自身を振り返ってみると、自分の幸せのために努力はできても、それを後回しにして、他人の幸せのために努力するといことはなかなか難しいものです。しかし、他人の事はほっといて、自分の幸せのみを追求すると、そこはギスギスとした争いの絶えない世の中になってしまうのではないのでしょうか。

だからこそ、私たちは自然に「思いやり」や「おかげさま」という心を大切にしようとするのではないのでしょうか。

「自分のことよりちょっと他人のことを考える」とは、ほんの少しの思いやりが自分の心も豊かにし、その思いやりを受けた人の心も豊かになって、お互いを思い合う温かい社会となっていく。こういったことは理屈では当然と思い、当たり前だと分かっている、自覚をしておかないとなかなか行動に移せないものです。

(文：行武秀明法務員)